

2026 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	野口久美子
演習テーマ	アメリカの歴史と社会
校外実習	1、実施しない 2、実施（実施時期：2026 年 8 月）
メール・アドレス	noguchik@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	木、金曜のお昼休み（その他の時間を希望する場合にはメール予約）
2027 年度に 開講しない可能性 (研究サバティカル)	なし
授業概要	演習 2 では、現代のアメリカ社会を取り巻く様々なテーマについて、前半は講読とディスカッション、後半は個人・グループ研究／報告を行う。講読は現代のアメリカ社会を読み解く人種、民族、ジェンダー差別についてとりあげ、ディスカッションでは私たちの社会との関係性について考える。個人・グループ研究報告では卒業論文研究につながる基礎知識と先行研究についてまとめ、報告する。
学習目標	アメリカの歴史と社会を学ぶことを通して、私たちとアメリカの多様な関係性を理解し、最終的には現代社会を理解するための「批判的観点」を養う。卒業論文研究のための理論と調査方法、説得力のあるプレゼンテーション方法を身に着ける。4 年次に向けての研究計画書を作成する。
授業計画	<演習 2A> 1 ガイダンス 2-7 講読と議論 8-9 グループ報告 講読に基づくテーマ別の調査と報告 10-13 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 14 全体のまとめ <演習 2B> 1 ガイダンス 2-7 講読と議論 8-9 グループ報告 講読に基づくテーマ別の調査と報告 10-13 個人報告 個人研究調査の途中経過報告 14 全体のまとめ
予習	指定するテキストを読み、質疑応答やディスカッションに備える。
復習	テキストを再読してゼミ内での議論を確認し、各自の卒業論文研究に反映させる。
授業に関する 注意事項	毎回指定するテキストや原稿をしっかりと読んで切ること。 演習 2、演習 3 の履修期間中に「アメリカの文化と社会」と「異文化コミュニケーション」を履修すること（or 履修済）が望ましい。校外実習参加者は、別途、事前・事後学習を実施する。学内での各種セミナーへの参加、サブゼミの開催、グループ報告準備など、演習時間外の活動も推奨する。

教科書	適宜、指定する。
参考書	適宜、指定する。
成績評価の基準	ゼミへの積極的な参加(ディスカッションや質疑応答での発言を含む) 50% 提出物 50%)
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	<input checked="" type="checkbox"/> 可 / 否 / その他(しかし、卒業年に影響しない範囲でできる限り 帰国後の平行履修を薦めている。)
備考	